

プロジェクト代表者	本庄かおり(社会・行動科学・教授)
共同研究課題名	社会的健康決定要因の健康影響とそのメカニズムに関する社会疫学研究
目的	仕事や家庭生活に関連する要因ならびに世帯の状況（世帯構造・世帯収入等）といった社会的要因がどのように相互に作用しながら人々の健康に影響し、健康格差を生成しているのかの把握すること、加えて生成された健康格差を縮小するための介入の根拠を得ることを目的に日本人を対象とした大規模コホートデータを収集し解析する。
内容	1990年から日本の40歳から74歳の地域住民約14万人を対象に健診と自記式質問紙により健康状態、生活習慣、社会要因等に関するデータを5年ごとに収集し、死亡や疾患罹患の追跡調査を実施しているJPHC研究、2011年から約11万人を対象に同様のデータを収集しているJPHC-NEXT研究、平成25年度国民生活基礎調査の3つの大規模疫学調査データを解析に用いる。これらの情報を基に、生活に関連する要因の健康影響を定量的に評価することにより、家庭や仕事に係る社会要因の健康影響メカニズム解明を試みる。
学内共同研究者	鈴木有佳(社会・行動科学・助教)
	伊藤ゆり(医療統計室・室長/准教授)
	福井敬祐(医療統計室・助教)
学外共同研究者	磯 博康(大阪大学大学院・教授)
	村木 功(大阪大学大学院・助教)
研究費	1,000,000 円